

令和6年度 事業報告

(公財)ふるさと島根定住財団

I. 事業実績の総括

以下の三つの大きな柱を中心に、定住を促進する事業を展開した。

- 1：若年者の県内就職の促進
- 2：県外からのU I ターンの促進
- 3：活力と魅力ある地域づくりの促進

上記の取組は、これまでも県の基本計画等にも示されてきたところであるが、令和2年3月に策定された、県の最上位の行政計画である「島根創生計画」並びに「島根県雇用対策計画（令和2年3月策定）」及び「島根県県民いきいき活動促進基本方針（令和2年3月第3次改訂）」の施策に位置付けられているところであり、県の主管部局（地域振興部、商工労働部、環境生活部）と常に連携を図りながら、事業の執行にあたった。

上記の「島根創生計画」は、令和6年度までの5年間を期間とし、各年度の成果指標の目標値が設定されてきた。当財団事業に関連する成果指標の目標設定もあり、その最終年度において達成を意識しながら事業の実施に努め、下表のとおりの実績となった。

成 果 指 標	経常分類	R6 年度目標	R6 年度実績
県外4年制大学の島根県出身者の県内就職率	単年度値	31.0%	夏頃公表
県内大学等の県内就職率	単年度値	39.4%	夏頃公表
産業体験事業終了時定着者数	単年度値	75.0人	53.0人
U I ターン希望者のための無料職業紹介による年間就職決定者数	単年度値	343.0人	348.0人
ふるさと定住・雇用情報コーナーの相談実人数 (東京・広島・大阪計)	単年度値	1,000.0人	1,466.0人
ふるさと回帰支援センターでの相談実人数	単年度値	220.0人	290.0人
しまコトアカデミー受講者数	累計値	394.0人	397.0人
移住支援東京拠点等での関係人口拡大セミナー 受講者数(東京・大阪累計)	累計値	2,310.0人	2,545.0人
関係人口マッチングサイトによる県内地域への マッチング件数	累計値	200.0件	247.0件

以下、3つの柱の主だった事業の実績、課題等について報告する。

Ⅱ. 若年者の県内就職の促進

(単位：千円)

	現計予算額	決 算 額
県補助事業	83,742	76,514
自主事業	7,700	7,117

1. キャリア相談事業 1, 196千円

(1) 事業の概要

学生や若年者(45歳未満)を対象に、就職についての“悩み”や“分からないこと”を専門のキャリア・アドバイザーが話をじっくり聴き、アドバイスやサポートを行う。

(2) 事業の実績

- ・対面、WEB、電話による就職活動についての“悩み”や“分からないこと”の相談、応募書類の添削や面接練習対応、就活力向上プログラム「ステップ9」の実施

【ジョブカフェ来所者・相談実績】

区 分	R2	R3	R4	R5	R6
来所者(延人数)	4,934人	4,544人	4,472人	4,167人	4,543人
松江センター	3,432人	3,112人	3,119人	3,352人	3,663人
浜田ブランチ	1,502人	1,432人	1,353人	815人	880人
個別キャリア相談	3,149人	2,976人	3,033人	2,901人	3,366人
松江センター (うちWEB等)	1,885人 (1,013人)	1,783人 (767人)	1,928人 (576人)	2,217人 (621人)	2,591人 (826人)
浜田ブランチ (うちWEB等)	1,264人 (899人)	1,193人 (804人)	1,105人 (511人)	684人 (212人)	775人 (175人)
学 生	2,505人 (79.5%)	2,294人 (77.5%)	2,333人 (76.9%)	2,103人 (72.5%)	2,538人 (75.4%)
既 卒	644人 (20.5%)	667人 (22.5%)	700人 (23.1%)	798人 (27.5%)	828人 (24.6%)

- ・就職活動での様々な場面を想定したテーマ別の就職応援ミニセミナーの実施
 - ・県内大学と連携した相談対応をするため、島根大学・島根県立大学での出張相談や島根県立大学での出張セミナーの実施
- ➡県内企業を就職希望先の選択肢の一つとして検討してもらえるように、業界研究の内容も踏まえ、県内企業の情報を相談者に提供しつつ、個に応じたきめ細かな対応をすることが必要

2. 学生に向けた情報発信 7, 110千円

(1) 事業の概要

就職する方を含め県内高校等を卒業する学生の「しまね登録」への登録を推進し、登録者へ卒業後も島根と「つながる」情報を届ける。

(2) 事業の実績

- ・就活情報サイト「ジョブカフェしまね」で県内企業の企業情報・求人情報の提供、ジョブカフェしまねが実施するイベントや助成金等の情報を発信
- ・若者の情報収集の手段がSNS等に移行している状況を踏まえて開始した「しまね登録」については、登録促進キャンペーンの実施や県内各高校と県教育委員会、県雇用政策課と連携し登録を推進するとともに、LINEアプリを通じて学年等に応じた就活イベントや助成金等の情報をタイムリーに配信

【高校卒業時の登録状況】

R4	R5	R6
1,527 人	1,784 人	1,489 人

➡高校卒業時の「しまね登録」の登録手続きでは出張説明会を実施するなど、引き続き強力に推進するとともに、県外出身者も含め就職活動を始める学年を中心とした学生等へキャンペーン等を通じた登録促進が必要

3. 就職活動イベントの実施 23, 753千円

(1) 事業の概要

卒業前年次以下の学生等に対して、県内企業の情報提供と出会いの場を創出するために、説明会等を開催する。

(2) 事業の実績

- ・対面形式でのイベントを実施

【イベントの開催状況】

イベント名	開催日	場 所	参加者数	参加企業数
しまねジャンボ企業博	12/26	くにびきメッセ	211 人	158 社
しまね企業ガイダンス	3/3	くにびきメッセ	260 人	196 社

【しまね企業ガイダンスオプション企画の開催状況】

企画名	開催日	内 容	参加者数	参加企業数
しまねスカウト型就活	2/15	学生がブースを設けて、企業採用担当者等に自己PR	24 人	35 社

- ・オンラインで県内企業情報を掲載

【実施状況】

県内企業を紹介する動画「ジョブチャンネル」を公開

参加企業数：219 社 視聴回数：21,535 回

➡就職活動の早期化に合わせてイベントの開催時期を検討するとともに、学生の情報収集の手段や参加しやすい内容等を勘案しながらイベントを実施することが必要

4. しまね短期仕事体験等関連事業 11,413千円

(1) 事業の概要

三省合意の改正の内容に対応し、しまね短期仕事体験、しまね学生インターンシップ、しまね1Day仕事体験を実施する。

(2) 事業の実績

- ・しまね短期仕事体験

学生の希望等に配慮しながら、受入企業とのマッチングを実施

三省合意の分類：キャリア教育 (タイプ 2)
対象：卒業前年次以下の学生
参加方法：マッチング形式

【しまね短期仕事体験の実績】

項 目	R4			R5			R6		
	夏期	春期	計	夏期	春期	計	夏期	春期	計
申込企業数(社)	124	111	235	125	104	229	160	119	279
申込学生数(人)	387	97	484	327	91	418	289	68	357
マッチング件数(件)	396	104	500	336	92	428	307	81	388
マッチング企業数(社)	80	46	126	69	44	113	76	41	117
参加者数(延べ数)	362	101	463	318	88	406	299	76	375

- ・しまね学生インターンシップ

実施企業や実施内容等の情報を特設サイトに掲載し、学生への情報提供を実施

【しまね学生インターンシップの実績】

項 目	R5	R6
申込企業数	105 社	85 社
申込学生数	85 人	185 人

三省合意の分類：インターンシップ (タイプ 3)
対象：卒業前年次の学生
参加方法：学生が企業に直接申込

- ・しまね1 Day 仕事体験

実施企業や実施内容等の情報を特設サイトに掲載し、学生への情報提供を実施

【しまね1 Day 仕事体験の実績】

項 目	R4	R5	R6
申込企業数	144 社	119 社	160 社
申込学生数	191 人	86 人	108 人

三省合意の分類：キャリア教育（タイプ 2）
オープンカンパニー（タイプ 1）
対象：卒業前年次の学生
参加方法：学生が企業に直接申込

※R5 より申込学生数の計上方法を変更。R4 までは企業アンケート、R5 からはしまね登録経由での申込数を計上。

- ・インターンシップ等説明会

受入企業の担当者から短期仕事体験等のプログラム内容等を聞く交流会を開催

開催日	参加者数	参加企業数
6/14	23 人	12 社
12/26	29 人	12 社

- ➡県内企業を就職希望先の選択肢の一つとして検討してもらうためには、インターンシップ等を通じて県内の企業や仕事の魅力を知ってもらうことが重要であるため、三省合意の改正の内容に対応したインターンシップ等を引き続き実施していくことが必要

5. 県内企業の採用力強化の支援

6, 495 千円

(1) 事業の概要

県内企業の経営者、採用担当者等を対象に、インターンシッププログラムの改善等採用力向上のための効果的な取組について学ぶセミナー等を実施する。

(2) 事業の実績

- ・インターンシップ等の改善・強化セミナーを開催

【セミナー開催実績】

開催日	内容（テーマ）	場 所	参加社数
8/2	フィードバックから採用につなげる	松江テルサ	31 社
2/21	事例と演習で学ぶ。プログラム設計のポイント	松江テルサ	28 社

- ・採用力強化セミナーを開催

【セミナー開催実績】

開催日	内容（テーマ）	場 所	参加社数
9/26	知っておきたい！これから始める新卒採用	松江テルサ	27 社
9/27	〃	いわみーる	16 社
12/5	学生に響く魅力的な求人原稿の書き方とは？	オンライン	54 社

- ➡インターンシップ等の受入の充実につながるセミナーを引き続き実施するとともに、企業訪問等を通じて実態を踏まえた情報提供や支援を行うことも必要

6. しまね就職活動応援助成 15,331千円

(1) 事業の概要

県内企業の理解促進と県内就職の増加を図るため、県内企業に就職活動を行う学生やしまね学生インターンシップ等に参加する学生に対し、交通費、宿泊費を助成する。

※R4年度からしまね未来サポート事業と連携し、助成率を10/10に引き上げ(R3年度までは1/2)

(2) 事業の実績

・就職活動助成

県内企業で就職活動をする学生に対し、交通費・宿泊費を助成

【就職活動に関する助成実績】

項 目	R2	R3	R4	R5	R6
助成件数	89件	205件	410件	355件	368件
助成金額	721,700円	1,546,600円	7,496,414円	6,564,573円	8,445,049円

・インターンシップ等助成

しまね学生インターンシップ等に参加をする学生に対し、交通費・宿泊費を助成

【インターンシップに関する助成実績】

項 目	R2	R3	R4	R5	R6
助成件数	27件	15件	30件	44件	97件
助成金額	344,100円	219,100円	1,369,252円	1,793,851円	3,870,159円

➡県内企業での就職活動やインターンシップ等に参加する学生を増やし、県内就職者数を増やすため、学生や企業等への助成金の周知が必要

R7年度から助成金の対象者や上限額を拡充

Ⅲ. 県外からのU I ターンの促進

(単位：千円)

	現計予算額	決 算 額
県補助事業	279,514	258,731
自主事業	2,800	3,207

1. 無料職業紹介事業 6,693千円

(1) 事業の概要

U I ターン希望者が島根県内で円滑に就職できるようにきめ細かな就業相談をしながら、求人情報をはじめとする定住支援情報を提供する。

(2) 事業の実績

- ・しまね移住情報ポータルサイト「くらしまねっと」を活用し、U I ターン希望者と県内企業が直接WEB上でのやりとりを実施
- ・職業紹介担当を配置し、U I ターン希望者と県内企業の求人のマッチングの実施と、移住希望の地域の生活環境や移住支援情報を提供

【無料職業紹介事業の実績】※R6 年度 KPI (就職決定者数)=343 人

区分／年度	R2	R3	R4	R5	R6
求職登録者	2,119 人	2,131 人	2,496 人	2,911 人	3,258 人
/新規登録者	736 人	618 人	930 人	771 人	805 人
就職決定者【KPI】	282 人	283 人	295 人	337 人	348 人
/U ターン	103 人	118 人	122 人	129 人	123 人
/I ターン	179 人	165 人	173 人	196 人	218 人
<I の内関係有>	52 人	47 人	47 人	84 人	84 人
/不明	-	-	-	12 人	7 人

- ・求職登録者が、その後の相談に繋がるようにすることが重要であり、登録内容に応じた案内メール送信等の対応を実施

【相談対応状況】

年度	相談者数 (実数)	相談件数 (延べ)
R5	1,477 人	5,213 件
R6	2,424 人	7,437 件

【移住者数】

年度	移住決定者数	移住家族人数	移住者総数
R5	373 人	255 人	628 人
R6	384 人	253 人	637 人

- ➡KPIである就職決定者数が過去最高数であったが、引き続き高い決定数を出すためには、個別相談できめ細かな求人提案をするとともに、取りこぼしがないように市町村や関係機関等との密な連携が必要
- ➡島根に移住後のフォローアップも重要であり、移住者同士の交流の場の設定や要望に応じ個別の支援を実施していくことが必要

2. UIターンしまね産業体験事業 88,709千円

(1) 事業の概要

県外からのUIターン希望者を誘導するため、3ヵ月以上1年以内の期間、農林漁業等の産業体験を行う場合に、滞在に要する経費を一部助成する。

(2) 事業の実績

- ・認定者数は、前年度比11人の増となったが、コロナ禍に比べると少ない状況。減少の要因は、資材高騰・都市部での人件費上昇などが考えられる。

【体験者数】

認定年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	H8～累計
認定者数	83人	93人	103人	107人	61人	72人	2,446人

- ・認定者の内訳：農業28人、畜産4人、林業8人、漁業25人、その他7人

【終了時定着率】 ※KPI(終了時定着者数)=75人

区 分	R3	R4	R5	R6
体験終了者数	91人	111人	93人	57人
終了時定着者数【KPI】	77人	98人	76人	53人
終了時定着率	84.6%	88.3%	81.7%	93.0%

- ・終了時定着者数が前年度比23人の減ではあるものの、定着者率は11.3%の増と、かなり高い水準で推移

- ➡農業の体験者が前年度比12人の減と、他の業種に比べ減少幅が大きかった。県・市町村・公社等の農業サイドの関係者とより密な連携により、体験者の確保と着実な定着に繋げることが必要
- ➡認定者が体験終了時に定着することが重要であり、体験者へのフォローアップの実施や体験者同士の仲間づくりの場を設定していくことが必要

3. UIターン情報発信事業 36,970千円

(1) 事業の概要

WEBサイト、SNS、情報誌等を通じてUIターン情報を発信する。

(2) 事業の実績

- ・移住女子をターゲットに据え、インスタグラムの開設や、島根に移住してきた女性のリアルな島根の暮らしの様子を漫画コンテンツ・リレーブログ形式で発信
- ・「島根で働く人の想い」、「職場の雰囲気」を感じられるよう『心で読む求人票』特設サイトの掲載記事を充実
- ・UIターン希望者に対する「しまね登録」への新規登録キャンペーンを実施

➡島根の暮らしの良いところばかりの情報発信に偏ることなく、よりリアリティが感じられるよう、デメリットも含めた情報提供が必要

➡移住検討に必要な情報は、それぞれ求める情報等が異なるため、意図的にそれぞれの属性にターゲットを絞りアプローチしていくことが必要

4. UIターンイベント等の開催 66,468千円

(1) 事業の概要

島根県の移住相談や情報提供を目的として、UIターンイベントを開催する。

(2) 事業の実績

- ・【新規】「しまね移住相談会」／地方移住を検討する方との対面相談できる機会を増やすために5年ぶりに東京で復活開催。

日付	会場	来場者数	財団相談	市町村等相談
6/15	東京	192人	59件	363件

- ・「しまね移住フェア&しまね暮らしマルシェ」／しまね暮らしに興味関心を持ってもらうための移住イベントとして東京・大阪にて開催。交流のきっかけとなるマルシェブースを設置し、市町村・支援機関などが相談ブースで移住相談を行う。

会場	区分	来場組数	来場者数	財団相談	市町村等相談
大阪 7/13	フェア	587組	935人	114件	731件
	マルシェ	1,882組	—	—	—
東京 10/19	フェア	805組	1,209人	161件	800件
	マルシェ	1,326組	—	—	—

- ・「しまね移住体感オンラインツアー」／現場からの中継や暮らしの様子を密着取材した動画などを駆使し、しまね暮らしを体感してもらうためのイベントをオンラインでテーマごとに開催。

日 付	テーマ	参加者数	相談組数
5/18	農林漁業	140 人	15 組
9/7	田舎暮らし	140 人	9 組
12/14	結婚子育て	70 人	4 組
3/1	移住のネック	117 人	12 組
合 計		467 人	40 組

- ・【新規】「しまね企業 EXPO」／県外で暮らす若者(学生)及び島根県への UI ターンを考えている方と島根の企業を繋ぐ出会いの場として開催。

日付	会場	企業数	来場者数	財団相談	企業相談
11/23	大阪	20 社	91 人【社会人 61 人/学生 30 人】	21 件	114 件
1/25	東京	20 社	112 人【社会人 85 人/学生 27 人】	41 件	164 件

- ➡対面イベントの企画内容を多様化させることで、島根県への移住意志の高い方へのアプローチはもちろんのこと、まだ移住意志が低い人との接触も増やし、多くの方の意識の変容のきっかけとなるように工夫することが必要
- ➡イベントに来場された方と可能な限りコミュニケーションをとることで信頼関係づくりを行い、しまね暮らしに対する興味を高めてもらうように、イベント後にも継続的にきめ細かな情報提供などを行うなど、移住に繋げるための工夫が必要。

5. Uターン促進に向けた戦略的企画 3, 987千円

(1) 事業の概要

Uターン者に特化した取り組みを行うことによりUターンの促進を図る。

(2) 事業の実績

- ・Uターン呼びかけ広報事業として「しまねサブリプロジェクト」を実施。島根県内在住の若者から県外在住の島根県出身の若者に対して、Uターンの呼びかけを協力してもらった。

Uターンサポーター	県外の友達	Uターン情報に触れる機会がなかった人	Uターンしたい人
187 人	200 人	72%	32%

- ➡ 県外在住の島根県出身の若者で「いつか島根に」という気持ちのある方としっかり繋がり、島根にUターンするきっかけとなるような工夫をしていくことが必要

6. 「しまね移住支援サテライト東京」の活動

48,766千円

(1) 事業の概要

首都圏における移住情報の提供や相談対応、島根への興味、意識啓発のセミナーの開催、交流機会の提供により、UIターン者の増加、関係人口の創出・拡大に取り組む。

(2) 事業の実績

- ・日比谷紫ビル及びふるさと回帰支援センターに移住支援コーディネーターを配置し、移住希望者の様々な相談に対応。
- ・相談件数が少なくなる年度前半の底上げのため、月1ないし2回の頻度で回帰支援センターでの移住セミナー等の開催、また、他団体主催の対面イベントへの出展対応等における移住相談者の新規開拓を行ったことにより、相談者数、相談件数ともに過去最高の実績となった。
- ・移住確度の高い相談者を丁寧に島根につなげられるよう、個々の希望に沿ってきめ細かな対応を行った。

【相談実績】

相談場所	相談者数（実数）	相談件数（延べ）
紫ビル	480 人	894 件
ふるさと回帰支援センター	290 人	392 件

- ・島根移住への関心を高め、新規相談に繋げるため、ふるさと回帰支援センター等で移住セミナーを開催。
- ・島根への興味喚起、関心層の掘り起こしのため、首都圏在住者向けに移住・関係人口に関するセミナーを開催。

【セミナー実績】

種 別	開催回数	参加者数
移住セミナー	20 回	150 人
関係人口セミナー	15 回	253 人

➡引き続き、首都圏における相談窓口である「しまね移住支援サテライト東京」や「ふるさと回帰支援センター島根県ブース」の認知度向上のため移住セミナー等を企画開催するとともに、令和7年度から新たに移住企画プランナーを業務委託し、移住関心層や若年層に向けた積極的なイベント企画を行う体制を強化することで、首都圏から島根へのUIターン者の更なる獲得を目指す。

IV. 活力と魅力ある地域づくりの促進

(単位：千円)

	現計予算額	決 算 額
県補助事業等	64,782	58,628
NPO 中間組織委託事業	5,145	402

1. 関係人口・移住促進事業 18,589千円

(1) 事業の概要

地域活性化への貢献や将来の移住に繋げるため、関係人口と地域づくりの担い手として関係人口を受け入れたい県内地域の掘り起こし及びマッチングを行う。

(2) 事業の実績

- ・関係人口（サポーター）と、地域づくりの担い手として関係人口を受け入れたい県内地域団体（オーナー）とのマッチングを行うポータルサイト『しまっち！』を運営【しまっち！利用状況】

年 度	R3 (10月～)	R4	R5	R6	累 計
オーナー登録数	31 団体	49 団体	47 団体	57 団体	184 団体
サポーター登録数	129 人	302 人	566 人	642 人	1,639 人
プログラム掲載数	28 件	67 件	100 件	135 件	330 件
マッチング件数	16 件	48 件	70 件	113 件	247 件
マッチング人数	31 人	148 人	388 人	512 人	1,079 人

<関係人口向け（掘り起こし及び活動参加促進）>

- ・首都圏の大学生の関係人口創出を図るため、島根県と連携協定を締結する専修大学にR3年度から寄付講座を設置。全15回の講座をオンライン及び対面で実施

年 度	R3	R4	R5	R6
履修登録者数	95 人	156 人	185 人	314 人

- ・関係人口と地域団体の接点づくりのため、関係人口マッチングイベントをオンラインで5回開催

年 度	R3	R4	R5	R6
回 数	3 回	6 回	5 回	5 回
参加者数	23 人	98 人	60 人	71 人

- ・しまっち！プログラムへの参加促進のため、プログラムに参加する関係人口に対し、交通費・宿泊費を一部助成する『しまっち！サポーター地域活動参画助成金』を実施（助成額：片道交通費・宿泊費の半額／上限1万円）

年 度	助成件数	県外	県内	助成金額
R6	128 件	112 件	16 件	942,567 円
R5	94 件	70 件	24 件	662,888 円

- ・地域との接点を持った関係人口の「地域の担い手化」を促進する『現地滞在型関係人口受入検証事業』を実施

安来市比田地区				奥出雲町三沢地区			
1	30代	1か月	関わり継続意向あり	1	20代	2か月	関わり継続意向あり
2	30代	1か月	移住関心あり	2	20代	3か月	今春再訪・滞在
3	30代	1か月	今夏再訪意向あり	3	30代	3か月	今春より地域おこし協力隊として着任

- ➡専修大学寄付講座及び県外拠点（東京、大阪）における関係人口側の掘り起こしの取り組みはR7も継続して行う。並行して、情報提供や「しまっち！」サポーター登録促進等により、掘り起こした人材を関係人口に引き上げる。
- ➡関係人口候補者が地域活動に参加するには、地域団体との直接の接点の有無や参加時の旅費などの経費がネックになっているケースがあるため、引き続き地域団体との接点づくりや経費助成を行うことにより、地域活動参加を促進する。
- ➡地域活動に参画した関係人口の「地域の担い手化」を目的に、地域に滞在しながら日常的な地域活動に加わる「現地滞在型関係人口受入検証事業」をR7も継続実施し、関係人口の地域の担い手化に向けた関係人口側・地域側のポイントを明らかにし、他地域への横展開の足掛かりとする。

<地域団体向け（受入機運醸成、受入促進）>

- ・地域づくりをテーマとし、関係人口・仲間づくり・自治体との連携等の各種事例から学ぶ「地域づくりオールスター祭」を対面で開催

年 度	開催日	開催形式	参加者数
R6	3/15	入間交流センター（雲南市）	132 人
R5	12/23	あすてらす（大田市）	120 人
R4	2/28	オンライン	106 人
R3	2/24	オンライン	117 人

※イベント名称：R3「関係人口フォーラム」、R4「しまね地域づくりフォーラム」

- ・「関係人口受入助成」により、関係人口の受入事業を行う地域団体の事業実施に要する経費を助成し、地域団体における関係人口の受入を促進（上限額：10万円）

年 度	R4	R5	R6
助成件数	13 件	12 件	12 件
助成金額	1,142,000 円	985,000 円	876,000 円
受入人数	246 人	242 人	216 人

- ➡地域団体での受入事例の増加により、関係人口受入の機運や意欲は高まってきたが、依然として地域差がある。引き続き、機運・意欲醸成、不安感の払拭に取り組みながら、地域の中間支援組織と協力し関係人口受入の支援を行っていく。

2. しまコトアカデミー 17,342千円

(1) 事業の概要

島根県の地域づくりに関心を持つ方を対象に、島根県への関心層の拡大及び地域貢献を目指す方の育成、そうした人材のネットワーク化を図るための連続講座。

(2) 事業の実績

- ・東京・関西・広島・島根の4講座（広島・島根は合同開催）を開講。R5に引き続き、R6も全講座対面で実施した。また、講座受講直後に修了生との交流会を設け、関係人口として島根に具体的に関わる機会等の情報提供を行った。

【受講生数】

年 度	東 京	関 西	広 島	島 根	小 計	累 計
R6	16 人	14 人	6 人	18 人	54 人	397 人
R5	12 人	7 人	7 人	18 人	44 人	343 人
R4	12 人	9 人	8 人	12 人	41 人	299 人

➡広島講座は「しまっち！」を通じてより具体的に関係人口として地域活動に参画することを促すこととし、講座を廃止。また、島根講座を地域活動実践者育成講座としてリニューアルすることとし、しまコトアカデミーは東京・関西の都市部2講座で展開する。講座受講により島根への関係意欲の高い人材育成を目指す。

➡しまコトアカデミー修了生数は400人近くの人数となったが、修了生コミュニティの活性化と修了生の活動実践が課題。修了生が島根に関する活動に参画するきっかけや情報の提供、活動を起こす意欲のある修了生のフォローを行う。

3. しまね田舎ツーリズムの推進 12,245千円

(1) 事業の概要

移住定住・関係人口を推進するため、「食」「体験」「宿泊」が連携した農家民泊・漁家民泊の広報やキャンペーンによる利用促進、研修等による実践者の支援を行う。

(2) 事業の実績

- ・実践者等に対してコーディネーター等による助言・アドバイス等を随時実施

【田舎ツーリズム実践者数及び受入人数】

年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
登録施設数	106 件	135 件	147 件	163 件	167 件	170 件
受入人数	10,674 人	4,745 人	5,056 人	8,459 人	13,367 人	調査中

- ・実践者の研修会やリスクマネジメント研修、意見交換会を実施

【研修会等開催実績】

研修会等	内容	回数	参加者数
衛生講習会・リスクマネジメント研修	救急救命、火災報知器点検等	8回	98人
県内研修会	移住検討者等の対応ポイント	3回	21人

- ・移住検討者及び関係人口に向け、田舎ツーリズム利用促進キャンペーン（ツアー型、交通費助成型）を実施

【移住検討者向けツアー】

開催日	地域	テーマ	参加者数
12/13～15	東部（出雲市）	農業と狩猟	3人
1/24～26	西部（浜田市・江津市）	島根の手仕事	4人

【交通費助成】（助成額：田舎ツーリズム施設までの片道交通費／上限1万円）

助成件数	助成金額
37件	381,640円

- ・移住検討者の受け入れに積極的な民泊施設を特集した冊子の作成、「くらしまねっと」登録者へ広報の実施
- ➡移住検討者や関係人口を受け入れる体制・プログラム作り強化に向けて、対象者のニーズを把握し、各種キャンペーンや広報活動に役立てる。
- ➡実践者のスキルアップや施設継続のモチベーションを高めるため、実践者同士で学び繋がる機会を提供する。また、実践者数確保のため新規開拓も行う。

4. 社会貢献活動促進事業 3,471千円

(1) 事業の概要

地域の課題解決に向け、自主的・自発的に取り組む団体の活動（いわゆるNPO活動）がより活性化し、より良い地域づくりが展開できるための組織・人材育成支援などを行う。

(2) 事業の実績

- ・NPO法人の基礎的な事務力向上を目的としたセミナー・検定を実施
- ・NPOの組織力を強化するためのマネジメント、資金調達力を強化するための講座等、基盤強化研修を実施

- ・ 県内NPOの横の繋がり作りを目的とした交流会を実施

区分	開催日	研 修	参加者数
実務者研修	7/17	NPO 初心者セミナー（西部）	13 人
	7/18	NPO 初心者セミナー（東部）	11 人
	9/27	NPO 事務局セミナー（東部・西部）	20 人
	9/27	NPO 事務局検定（東部・西部）	15 人
	2/7	NPO 事務局セミナー（東部・西部）	14 人
	2/7	NPO 事務局検定（東部・西部）	13 人
基盤強化研修	6/6	ファンドレイジングセミナー（オンライン）	24 人
	10/30	情報発信力強化セミナー（オンライン）	30 人
	11/13	情報発信力強化セミナー（西部）	14 人
	12/16	伝えるコツセミナー（東部）	28 人
	1/22	ファンドレイジングセミナー（東部）	8 人
	2/19		7 人
交流会	12/16	NPO 交流会（東部）	20 人
合 計			217 人

- ・ NPO活動に係る各種相談に専門相談員及びNPO法人が応じる専門相談・センパイNPO派遣を随時実施

年 度	R4	R5	R6
専門相談	38 件	29 件	39 件
センパイ NPO 派遣	4 件	2 件	9 件

- ・ 県内のNPO情報やボランティア等について、広く情報発信する県民活動応援サイト「島根いきいき広場」を運営し、NPO活動に関する情報発信をサポート

【県内NPO法人数の推移】

（単位：件・団体）

年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
認証件数	9	8	11	11	7	5
解散件数	11	9	14	4	14	7
所轄庁変更	0	0	2	0	0	6
法人総数	287	286	281	288	281	273

- ・ 休眠預金の活用に向け、資金分配団体として中国5県でコンソーシアムを組み、島根県内の団体にも対応できるよう体制を整え、申請を希望する団体を支援

【休眠預金 支援事業】

採択年度	採択団体	事業名	助成金額
2021	ワークアット株式会社	地域や世代を越えた融合による 新たなビジネス創出	2,000 万円
2022	特定非営利活動法人 石西防災研究所	市町村域での民間団体の相互防災 支援ネットワーク作り	1,183 万円
2022	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	社会福祉法人等との連携による 災害福祉支援活動体制整備事業	1,347 万円

➡NPO活動が持続的に実施されることが重要であり、組織基盤強化、財政基盤強化に向けたサポートを引き続き行う。また、休眠預金活用事業等を通じ、中間支援組織としての定住財団の支援力強化に取り組んでいく。